

Title	大阪大学文書館設置準備室だより 第3号
Author(s)	
Citation	大阪大学文書館設置準備室だより. 3
Issue Date	2008-09-30
Text Version	publisher
URL	http://hdl.handle.net/11094/3493
DOI	
rights	
Note	

Osaka University Knowledge Archive : OUKA

<https://ir.library.osaka-u.ac.jp/>

Osaka University

大阪大学 文書館設置準備室だより

第3号

2008.9.30

目次

イ号館（旧制浪速高等学校校舎）	1	業務日誌（抄）	10
アーカイブ基礎セミナー ゼロからの資料保存の開催	2	全学共通教育「大阪大学の歴史」シラバス	11
アーカイブ基礎セミナー「ゼロからの資料保存」参加記 清水善仁	3	資料収集に関する申合せ	12
文書館設置準備室からのお願い	4	主な受贈資料 辻義浩君の逝去を悼む 阿部武司	13
受贈刊行物	5	大阪大学文書館（仮称）設置検討ワーキング委員名簿	14
		大阪大学文書館設置準備室員名簿	14



昭和37年撮影

イ号館（旧制浪速高等学校校舎）

イ号館は、旧制浪速高等学校高等科校舎として、松林の茂る待兼山丘陵地に1929年（昭和4年）竣工。新制大学発足時1949年（昭和24年）より、北校本館となり一般教養部として利用され、1951年秋に大阪大学に正式に移管された。鉄筋コンクリート造4階建、建築面積1276㎡、塔屋付の南棟の北側に3階建の北棟が続くL字型のこの建物は、尖頭形の窓や塔屋部等、ネオゴシック様式を取り入れた趣のある外観デザインである。戦争末期1945年には、教室に扶桑（住友）金属工場の機械が持ち込まれ、外壁は空襲を避けるため真っ黒に塗られ、屋上には高射砲が据えられたという歴史的背景をももつ。現存する大阪大学の建物の中でイ号館はもっとも古い建物であり、2004年には、国の登録有形文化財に登録された。旧教養部から全学共通教育本館となり、2008年には、「21世紀懐徳堂」も設置され、未来を見据えた新たな大学創出への拠点となっている。（田村 綾）

アーカイブ基礎セミナー ゼロからの資料保存の開催

文書館設置準備室では、2008年6月12日(木)、全国歴史資料保存利用機関連絡協議会(全史料協)資料保存委員会と共催で、附属図書館本館図書館ホールにおいて、「アーカイブ基礎セミナー ゼロからの資料保存」を開催しました(全国歴史資料保存利用機関連絡協議会近畿部会・懐徳堂記念会・全国大学史資料協議会後援)。東は神奈川県から西は大分県まで、各地から46名が参加しました。文書館設置準備室としては、初の対外的行事でした。

午前中はオプションプログラムとして、総合学術博物館待兼山修学館を見学しました。まず、総合学術博物館の廣川和花助教から博物館の施設概要について説明いただきました。当日は常設展に加え、第8回企画展『東洋のマンチェスター』から『大大阪』へー経済でたどる近代大阪のあゆみーが開催されており、企画展を担当した阿部武司文書館設置準備室長(経済学研究科教授)が展示解説を行いました。

午後のセミナーは、阿部武司室長の開会あいさつに続き、大阪大学出版会の大西愛氏の司会で進められました。文書館設置準備室からは菅真城講師が「大阪大学文書館スタートのために」と題する報告を行いました。菅報告は、まず大阪大学における文書館設置・資料保存に向けての取り組みについて紹介しました。そして、大学史編纂と大学アーカイブズとの関係にも論及しました。このほか、佐々木和子氏(神戸大学)「アーカイブの原点ー震災・まちのアーカイブの活動からー」、小川

千代子氏(国際資料研究所)「『ブルーシールド』国内委員会設置のために」の2本の報告も行われました。

佐々木報告は、阪神・淡路大震災後の震災の記録を後世に残す「震災・まちのアーカイブ」の活動について紹介されました。佐々木氏は、「記録を残すこととは、『私たち自身がこれまでに検証し、よりよい未来を自分の手で作るために欠くことのできない作業』です。今、震災一次資料の保存に取り組み震災の記録を残すことは、遠回りしているけれども、震災の引き起こした問題を根もとの部分で考える確実な方法のひとつだと信じます。」と記録を残す意義について述べられました。



報告する佐々木氏

小川報告で取り上げられた「ブルーシールド」とは、1954年ハーグ条約において、武力紛争の際文化遺産を攻撃から保護するため、その場所を示すのに指定された標識のことです。ブルーシールド国際委員会は、文化財の赤十字とも言われる国際組織で、1996年、戦争や自然災害によって危険にさらされる世界文化遺産の保護に尽力するために設立されました。ブルーシールド国際委員会には4つの専門家組織があり、その一つが国際文書館評議会(ICA)です。ICAは各国に国内ブルーシールド委員会を設置するよう努力すべきであると呼びかけており、これに対する全史料協の取り組みが紹介されました。

その後、小川千代子氏をコーディネーターとして質疑が行われ、参加者との間で活発な議論が



報告する菅講師



報告する小川氏

展開されました。そして、全史料協資料保存委員会委員長である山本八朗香川県立文書館長の閉会あいさつでセミナーは終了しました。

セミナー終了後は、学生交流棟カフェ&レストラン「宙」で懇親会が開催され、参加者の交流を深



セミナー会場風景

めました。

本セミナー開催にあたっては、全史料協資料保存委員会事務局(香川県立文書館)に大変お世話になりました。記して感謝申し上げます。

(菅 真城)

アーカイブ基礎セミナー「ゼロからの資料保存」参加記

京都大学大学文書館 清水 善仁

全史料協資料保存委員会主催・大阪大学文書館設置準備室共催による、アーカイブ基礎セミナー「ゼロからの資料保存」が、2008年6月12日、大阪大学にて開催された。当日は、午前中にオプションプログラム、午後からは3つの報告と質疑応答がおこなわれた。筆者は、オプションプログラムより参加したので、まずは当日の見学や報告内容の梗概を、順を追って紹介しておきたい。

オプションプログラムでは、大阪大学総合学術博物館待兼山修学館を訪問し、同館の概要紹介の後、常設・企画展示の見学がおこなわれた。筆者は特に自らの興味関心から「大阪大学の系譜」を中心に見学したが、その他にも自然史や科学史などに関



質問する清水氏

する多種多様な展示がなされていた。とりわけ特徴的であったのは、タッチパネルや展示解説の映像が豊富なこと、実験や作業の現場をガラス越しに見学することができること、などであり、これらはおそらく「交流型ミュージアム」を目指すとの同館の理念に通じるものであろう(同館パンフレット「ごあいさつ」より)。

続いて午後の報告である。菅真城氏「大阪大学文書館スタートのために」は、大阪大学における文書館設置の動向ならびに設置準備室の現状と課題の紹介、さらに大学アーカイブズの理念と文書館設置後のミッションについての報告、佐々木和子氏「アーカイブの原点～震災・まちのアーカイブの活動から」は、1995年に発生した兵庫県南部地震の後、同時代の記録(震災一次資料)の調査・整理・保存などを目的として発足した「震災・まちのアーカイブ」の取り組みに関する報告、小川千代子氏「ブルーシールド国内委員会設置のために」は、武力紛争の際に文化遺産を保護するため、その場所を識別する標章「ブルーシールド」について、2006年のICA円卓会議の決議に基づき、日本にも国内委員会を設置すべきとの提言である。

ここで、今回のセミナーで筆者が特に感じたことを一つ記しておきたい。午後の3報告の後におこなわれた質疑応答において「アーカイブズの戦略」が議題となった。これは、菅氏が報告の最後で触れられたアーカイブズにおける戦略形成の重要性に関連して、市民や行政職員(大学であれば学生や事務職員)に対してアーカイブズは何ができるのか、アーカイブズの必要性とは何なのか、アーカイブズが描くべき戦略とはどうあるべきか、そのような問題意識に基づいたフロアからの質問に端を発して議論となったものである。

議論の詳細は紙幅の都合から割愛するが、一点だ

け、この問題を「ゼロからの資料保存」という本セミナーのテーマに引き付けて考えてみたい。「ゼロからの資料保存」の「ゼロ」とは何に掛かる言葉なのか、ということである。今回の報告では、「ゼロ」から立ち上げる大阪大学文書館や震災・まちのアーカイブの事例など、「ゼロ」の示すものは資料保存を担う組織に対するものであった。しかし、おそらく「ゼロ」が掛かるべき言葉はそれだけではない。そこに属する人々もまた、その対象たり得るのではないだろうか。上記の「アーカイブズの戦略」について質問された方は、今年度からとある自治体のアーカイブズに勤務されることになったという。4月からアーカイブズの職員として多くの業務に携わっておられるとのこと、それもまた、ある意味では「ゼロ」からのスタートではあるまいか。人事異動にともない、初めてアーカイブズの業務をおこなう人が、様々な疑問や困難に直面している話をよく聞く(アーカイブズの存在自体を異動によって初めて知った、という話すら珍しいことではない)。そうした「ゼロ」からスタートを切る人々にとって不可欠なものは何か。おそらくそれは明確な理念であり、その理念に基づく個々の業務の意義への認識である。自らの業務の意義を知らなければ、業務に対する意欲や情熱は生まれにくい。しかし、ただでさえ数少ないスタッフで多くの業務を担わなければならない状況のなか、そうした意欲や情熱をすべての業務に同じ次元で傾注することは難しい。ではいかにそれらのバランスをとるか、これもまた「アーカイブズの戦略」とはいえないだろうか。

「アーカイブズの戦略」とは、すぐれてアーカイブズのマネジメントに直結する問題である。「ゼロからの資料保存」に不可欠な理念と戦略について、筆者にとっても自身の問題として改めて考えるきっかけとなった、今回のアーカイブ基礎セミナーであった。

文書館設置準備室からのお願い

文書館設置準備室では、大阪大学(旧制の大阪帝国大学・大阪医科大学・大阪工業大学・大阪高等学校・浪速高等学校・大阪薬学専門学校を含みます)に関する様々な資料を収集しています。広報誌などの学内刊行物、時間割、講義ノート、文書資料、学生運動関係等のビラ、写真(アルバム)、記念品など、大阪大学の歴史に関する資料がございましたら、文書館設置準備室にご寄贈もしくは貸与いただけますよう、お願い申し上げます。

受贈刊行物 (2008年3月～2008年7月)

追手門学院大学

博士学位論文 論文内容の要旨及び審査結果の要旨
第1号、OTEMON ECONOMIC STUDIES Vol.40、
地域と連携した起業家的人材の育成 -平成19年度報
告書-、追手門経済・経営研究 第15号、追手門経営
論集第13巻第2号、追手門学院大学心理学部紀要
Vol.2

大阪市立大学大学史資料室

大学史資料室ニュース 第12号

小樽商科大学百年史編纂室

緑丘アーカイブズ第7号、小樽商科大学史紀要 第2号

神奈川大学大学資料編纂室

神奈川大学史資料集 第二十四集

金沢大学資料館

金沢大学資料館だより No.30・31、石川四高記念文化
交流館リニューアルオープン記念講演会「近代教育掛
図からみた明治文明交流史」、平成19年度金沢大学資
料館・附属図書館特別展「教える×学ぶ 師範学校と
いしかわの教育養成史」、金沢大学資料館だより No.20
～29、金沢大学資料館紀要 No.1・3・4、金沢大学資料
館史料叢書 1・2、金沢大学資料館史料目録 1～3

関西学院大学学院史編纂室

関西学院史紀要 第14号

関西大学年史編纂室

関西大学年史紀要 第17号、平成20年度関西大学年
史資料展示室企画展「正義を権力より譲れ -児島惟
謙歿後百年記念展-」(チラシ)

九州大学大学文書館

九州大学大学史料叢書 第16輯、九州大学文書館
ニュース 第30・31号

京都産業大学

Sagittarius Vol.39・40 京都産業大学通信

京都大学大学文書館

京都大学大学文書館研究紀要 第6号、京都大学大学
文書館だより 第14号、平成19年度総長裁量経費プロ
ジェクト「戦後学生運動関係資料」解説・目録、平成17
～19年度科学研究費補助金(基盤研究B)研究成果報
告書「大学所蔵の歴史的公文書の評価・選別について
の基礎的研究」

神戸国際大学

経済経営論集 第28巻第1号、神戸国際大学紀要 第
74号、環境経営学の扉

神戸松蔭女子学院大学

神戸松蔭女子学院大学60周年記念誌 1947～2007

神戸女学院史料室

学院史料 Vol.22、学報Kobe College Bulletin No.153

成蹊学園史料館

成蹊学園史料館資料集 4

大東文化歴史資料館

第5回企画展「大東文化学院創設をめぐる人々(I)～
井上哲次郎 新資料の紹介～(チラシ)、大東文化歴
史資料館だより 第4号

拓殖大学創立100年史編纂室

拓殖大学百年史 資料編6、拓殖大学百年史 資料編
海外兄弟校

多摩美術大学

多摩美術大学研究紀要 第22号

中央大学大学史編纂課

中央大学史紀要 第13号、中央大学史資料集 第20
集

東京大学史史料室

東京大学史紀要 第26号、東京大学史史料室ニュース
第40号、内田祥三史料目録、東京大学史史料室調査
活動 中間報告大学の自己点検評価の歴史的調査:
基礎史料集

同志社大学同志社社史資料センター

第33回 Neesima Room(チラシ)よみがえるクラーク記
念館、同志社談叢 第28号、同志社創立130周年記念
写真集 鼓動(チラシ)、よみがえる クラーク記念館
(ポスター) 第34回 Neesima Room企画展、同志社
大学同志社社史資料センター報 第4号

東北大学史料館

東北大学史料館紀要 第3号、東北大学史料館だより
No.8

東洋英和女学院

楓園 第52号、史料室だより No.70

東洋大学 井上円了記念学術センター

井上円了センター年報 Vol.16

長崎大学総務部

長崎大学広報誌 CHOHO 第23・24号

名古屋大学大学文書資料室

名古屋大学大学文書資料室紀要 第16号、名古屋大
学大学文書資料室ニュース 第23・24号

南山学園

南山学園史料集 3、南山大学インターナショナル・デ
イヴィジョン 史料集1、アルケイア 2

日本女子大学成瀬記念館

日本女子大学創立者 成瀬仁蔵 生誕150年記念展
(ポスター)

梅花女子大学図書館

現代人間学部紀要 4、文化表現学部紀要 4

広島大学高等教育研究開発センター

大学論集 第39集、高等教育研究叢書 94～100号、Higher Education Forum Vol.5、Higher Education Research in Japan Vol.5、コリグ 41号

法政大学

法政大学 大学史資料集 第29集

北海道大学大学文書館

北海道大学大学文書館年報 第3号

武蔵学園記念室

武蔵学園史年報 第13号

明治大学大学史資料センター

大学史紀要第12号、大学史資料センターグループ報告 第29集 大学史活動、ニュースレター 明治大学史 Vol.4

桃山学院史料室

桃山学院年史紀要 第27号、歴史パンフレット① 桃山学院の歴史2008

立教大学立教学院史資料センター

ミッション・スクールと戦争-立教学院のディレンマ

立命館百年史編纂室

立命館百年史紀要 第16号

龍谷大学大学史資料室

龍谷大学史報 Vol.8

国文学研究資料館

史料目録 第85集 岡山・広島・鳥取県市町村役場引継文書目録、史料目録 第87集 信濃国松代真田家文書目録(その8)

全国大学史資料協議会西日本部会

西日本部会会報 No.23・24合併号

全国大学史資料協議会東日本部会

大学アーカイヴズ No.38

尼崎市立地域研究史料館

尼崎市立地域研究史料館紀要 地域史研究 第37巻 第2号

天草市立天草アーカイブズ

天草市立天草アーカイブズ年報 第4・5・6号

岡山県立記録資料館

平成20年度 岡山県立記録資料館 (リーフレット)、平成19年度 岡山県立記録資料館 企画展 近代のみち-岡山県の道路交通網整備-、岡山県立記録資料館紀要 第3号、岡山県立記録資料館所蔵記録資料目録 第3集、岡山県記録資料叢書3 岡山県史料 三、第3回アーカイブズウィーク(ポスター)

外務省外交史料館

外交史料館報 第21号

神奈川県立公文書館

公文書館だより 第19号

川崎市公文書館

川崎市史研究 創刊号

岐阜県歴史資料館

岐阜県歴史資料館だより No.63・64、岐阜県歴史資料館報 第31号、岐阜県史料調査報告書 第29号 戸長家文書目録 6

京都府立総合資料館

総合資料館だより No.155・156、資料館紀要 第36号、特別展「京都歴史こぼれ話-京都新聞連載コラム『雑学京都史』より-(チラシ)

宮内庁書陵部

書陵部紀要第59号

群馬県立文書館

ぐんま史料研究 第25号、文書館だより 第45号、双文 Vol.25、群馬県行政文書件名目録 第19集(明治期庶務・秘書・統計編)、群馬県立文書館収蔵文書目録 26 前橋地区諸家文書(1)

国立公文書館

アーカイヴズ 第32号、「国際アーカイブスの日」(ポスター)、「国際アーカイブスの日」(チラシ)

埼玉県立文書館

文書館紀要 第21号、埼玉県立文書館 所蔵文書目録 第47集坂本家文書・高橋(周)家文書 目録

財団法人 野間教育研究所

財団法人 野間教育研究所所蔵 学校沿革史誌目録 高等学校編、学校沿革史の研究 総説

東京都公文書館

東京都公文書館だより 第12号

鳥取県立公文書館

研究紀要 第4号

名古屋市市政資料館

新修名古屋市史 資料編 考古1、新修名古屋市史 資料編 自然、新修名古屋市史 資料編 自然目録

新潟県立文書館

新潟県立文書館だより 第9・10号、新潟県立文書館年報 第15・16号、新潟県立文書館(リーフレット)、研究紀要 第11号

新潟県歴史資料保存活用連絡協議会

古文書保存・整理の手引き

兵庫県県政資料館

兵庫のしおり 第10号

広島県立文書館

広島県立文書館収蔵文書目録 第一～八集、広島県立文書館複製資料目録 第一集(県内編)・第二集(県外編)・第三・四集、広島県立文書館紀要 第1～9号、広島県立文書館事業年報 第1～14号、広島県立文書館資料集1～5、広島県立文書館だより 第1・4～6・8～19・21・22・24～31号、開館記念特別展「古文書に見る安芸・備後の南北朝動乱と情勢」、第一回企画展「広島城下の町組と商人文化」、平成2年度企画展「近世尾道の発展と商人」、第3回特別展「写真と文書で見る広島県移住史海外移住展」、広島県立文書館企画展「資料でみる広島県の鉄道のあゆみ」、収蔵文書展「渋谷家文書の世界」、収蔵文書展「江戸時代の村方文書」、収蔵文書展「江戸の旅人たち」、広島県立文書館企画展「写真と文書による戦争展「町と村の戦時体制」、特別展「不動院文書展」、特別展「毛利元就文書展」、収蔵文書展古文書で綴る「地方都市商人の世界」、平成11年度 収蔵文書展「黒瀬町平賀家文書展」、平成12年度 収蔵文書展「賀屋家文書展 賀屋家の人々」、平成13年度 収蔵文書展「広島戦後の記録 1945-1970」企画展「戦中・戦後の援護-戦争犠牲者への追悼と援護」、路面電車が語るヒロシマ、平成15年度 収蔵文書展「明治期地方名望家のあゆみ-佐伯郡玖島村八田家の歴史と文書-」、平成16年度 収蔵文書展「広島藩の割庄屋文書-賀茂郡吉川村竹内家文書から-」、平成17年度 収蔵文書展「京橋町・保田家文書展-広島城下商家の活動と文化-」、平成18年度収蔵文書展「残された村の記録-広島県深安郡山野村役場文書-」、収蔵文書展「開発の時代広島県行政文書1955-1975」、広島県立文書館(リーフレット)、広島県立文書館紀要第10号、広島県立文書館外部評価報告書

福井県文書館

文書館だより 第11号、福井県文書館研究紀要 第5号

福島県歴史資料館

福島県歴史資料館収蔵資料目録 第39集、福島県歴史資料館研究紀要 第30号、福島県史料情報第20・21号、福島県歴史資料館展平成20年度収蔵資料展(チラシ)、平成20年度歴史資料研究巡回講習会 開催要項

和歌山県立文書館

和歌山県立文書館紀要 第13号、和歌山県立文書館だより 第23号

大阪大学総務部評価・広報課

大阪大学職員録 昭和33～40・44・46～49・52～54・57～61・62・63年、平成3・4・8～14・16・17年

大阪大学総務部企画推進課

人権問題について、阪大NOW No.104 2008 6月号、阪大ニューズレター No.40、大阪大学環境報告書 2007

大阪大学研究推進部研究推進課

博士学位論文 第88・89集

大阪大学情報推進部情報企画課

サイバーメディアセンター年報 2007年度 No.8

大阪大学学際融合教育研究プラットフォーム

学際融合教育研究プラットフォーム 活動報告

大阪大学附属図書館

市邨学園百年史、広島大学の五十年、大学院つれづれ草、広島経済大学創立四十周年記念論文集、東北大学百年史 一 通史編、第五高等学校 熊本大学五高記念館図録、慈忠忍・市邨学園100年の歩み、大阪大学附属図書館要覧 2007/2008、大阪大学附属図書館報 Vol.41 No.2、礎 看護短大からの始まり 和歌山県立医科大学看護短期大学部 閉学記念誌、東京大学陸上運動部120年史、大阪大学附属図書館報Vol.41 No.3、大阪大学附属図書館報 Vol.41 増刊号、筑波大学30年史年表 1973-2004、Current News 54・55、大阪大学附属図書館本館利用案内2008 [学内用](リーフレット)、大阪大学附属図書館 吹田分館利用案内2008 [学内用](リーフレット)、大阪大学附属図書館 生命科学分館利用 案内2008 [学内用](リーフレット)、大阪大学附属図書館 箕面分館利用案内 2008 (リーフレット)

大阪大学大学院法学研究科・法学部

大阪大学法学部50周年記念アルバム

大阪大学大学院経済学研究科・経済学部

平成7・8・10年度 全学共通教育科目 授業概要(シラバス)、平成7～12・18～20年度 全学共通教育科目履修の手引、平成11年度 全学共通教育科目 授業概要 I (シラバス)、平成12・13・15・18～20年度 全学共通教育科目 授業概要 I (シラバス I)、平成12・13・15・18～20年度 全学共通教育科目 授業概要 II (シラバス II)「言語・情報教育科目」、平成19・20年度 全学共通教育科目 授業担当教員マニュアル、平成15年度 全学共通教育科目 授業コード一覧、平成7・8年度 学生便覧・授業概要 大阪大学経済学部・大阪大学大学院経済学研究科(シラバス)、平成10・11・13～20年度 授業概要 大阪大学大学院経済学研究科(シラバス)、平成11～20年度 授業概要 大阪大学経済学部(シラバス)、平成9～20年度 学生便覧 大阪大学経済学部・大阪大学大学院経済学研究科、平成10・11・20年度授業時間表 1年次、平成11・20年度 授業時間表 2年次、平成11・12・16・19・20年度 専門セミナー・研究セミナー履修の手引き、大阪大学における共通教育、「学生による全学授業アンケート」平成13年度報告書、大阪大学の概要と特色、平成8～10・12・19年度 大阪大学入学者選抜要項、平成12・13年度 学生募集要項、平成19年度 学生募集要項 一般選抜(前期日程・後期日程) 専門高校卒業生選抜、平成8・11～13年度 大阪大学大学院経済学研究科博士前期課程学生募集要項(一般・社会人・外国人留学生)、平成8～13年度 大阪大学大学院経済学研究科博士後期課程学生募集要項、平成9年度 大阪大学大学院経済学研究科博士後期課程学生募集要項(学内)、平成10・20年度 大阪大学経済学部第3年次編入学生募集要項、平成19年度 授業時間表 1年次・2年次、大阪大学経済学部 案内 1990・1993～1996、大阪大学経済学部 1999・2000・2001・2004・2006～2008、大阪大学大学院経済学研究科 1998・2000・2001・2004・

2006、OKAKA UNIVERSITY FACULTY OF ECONOMICS GRADUATE SCHOOL OF ECONOMICS 1997-1998(英文)、OUTLINE大学のアウトライン 1999・200、大阪大学 1997~2002、大阪大学 PROSPECTUS 2002、OSAKA UNIVERSITY 1989-90・1997-1998(英文)、OSAKA UNIVERSITY PROSPECTUS 1998-1999・2000・2001・2002(英文)、OSAKA UNIVERSITY PROFILE 2007、キャンパスライフ 2002、学生案内 2000・2001、阪大TOPICS2005.4~2006.3・2006.4~2007.3、ANNUAL REPORT OF OSAKA UNIVERSITY Academic Achievement 1999-2000・2000-2001、大阪大学要覧平成2年度、平成8(1996)年度 外国学校出身者のための特別選抜学生募集要項(理学部)、平成5・7・13・15年度 入学試験制度委員会調査専門委員報告書、平成12年度 着手継続分大学評価報告書 全学テーマ別評価「教養教育」、平成12年度 着手分大学評価報告書 全学テーマ別評価「教育サービス面における社会貢献」、平成12年度 着手分大学評価報告書 分野別評価「理学部・大学院理学研究科」、平成13年度 着手分大学評価報告書 分野別評価「法学系」(法学部・大学院法学研究科)、平成13年度 着手分大学評価報告書 全学テーマ別評価「研究活動面における社会との連携及び強力」、大学システム改革への提言、大阪大学における学生生活の充実について-SPS(Student Personer Services)向上ワーキング報告書、学生生活実態調査報告書 第15・17回、大阪大学学生の意識と生活 第18・19回学生生活調査報告書、大阪大学学生の意識と生活 第19・21回学生生活調査報告書、平成18年度版インターンシップ体験報告書、大阪大学「21世紀ドリームプラン」、21世紀の大学像と今後の改革方策について(答申)、独立法人(文部科学省関連)中期目標・中期計画関係 参考資料、体験的課題追求型授業プロジェクト報告書、OSAKA JAPAN(パンフレット)、我が国の留学生制度の概要(受入れ及び派遣)、国立大学協会大学院問題特別委員会1995年10月 中間報告、第4期大学審議会答申・報告書、大阪大学21世紀ビジョン(中間報告)、平成16年度大阪大学学外技術研修報告書、これからの大学入試、知の拠点-今後の国立大学等施設整備の在り方について、これからの大学改革(パンフレット)、大阪大学留学生センター 5年のあゆみ1994.6-1999.3、自然共生と超分子化学、平成19年度 第1回 財団法人 懐徳堂記念会 理事会・評議員会(合同開催)、懐徳堂-浪華の学問所、外部評価報告書 2000 OSIPP、外部評価報告書 2000(英文) OSIPP、大阪大学大学院医学系研究科保健学専攻・大阪大学医学部保健学科 外部評価報告書(第2巻)、大阪大学工学部・工学研究科 現況と展望(自己点検・評価報告書)2001、大阪大学産業科学研究所 外部評価報告書、平成17年度基礎工学研究科物質創成専攻学外者による評価と提言、大阪大学言語文化部基礎調査報告、外部評価委員会報告書、平成15年度 共同利用実験室・共同利用実験装置 研究成果報告書、大阪大学社会経済研究所 活動報告 2006・2007、大阪大学研究推進室 文理融合研究戦略ワーキング報告書 文理融合研究の展望、学外者による評価と提言新世紀科学と技術のバイオニアを目指して 2003-2004、応用計量経済学コンファレンス報告論文集、リーディングプロジェクト「極端紫外(EUV)光源開発等の先進半導体製造技術の実用化」外部評価(中間評価)委員会 報告書、平成19年度 大阪大学臨床医学工学融合研究センター 教育プログラム、大阪大学 低温センターだより No.127、たんぱく質研究所 自己点

検評価報告書 1997、大阪大学文学部 大阪大学大学院文学研究科 OSAKA UNIVERSITY School of Letters(英文)、大阪大学大学院文学研究科紹介 2003-2004、大阪大学文学部紹介 2003-2004、大阪大学金融・保険教育研究センター 平成19年度活動報告書、大阪大学金融・保険教育研究センター(パンフレット)、Osaka School International Public Policy 2007/2008 大阪大学大学院国際公共政策研究科(パンフレット)、平成20年度4月入学 大阪大学金融・保険教育研究センター 社会人再教育プログラム[科目等履修生]募集要項(教員用見本冊子)、経済経営系のコア・カリキュラムの研究開発、経済経営系のコア・カリキュラムの研究開発(抜粋)、大阪大学経済学 第57巻第4号、21世紀の扉を開く 大阪大学法学部・法学研究科の4年間(平成10年~13年)、第3回自己評価報告書、大阪大学医学部保健学科・大阪大学大学院医学系研究科保健学専攻 自己点検・評価報告書-現況と課題-(第2巻)、大阪大学医学部保健学科・大阪大学大学院医学系研究科保健学専攻 外部評価報告書、保全科学 No.10、大阪大学核物理研究センター 創立30周年記念写真集、生産と技術 Vol.59 No.3、大阪大学核物理研究センター国際外部評価委員会報告書(英文)、大阪大学大学院人間科学研究科・大阪大学人間科学部 2005年度部局自己評価報告書および外部評価報告書、平成18・19年度 西日本地区国立大学法人経済学部・経営学部 学部長・事務長会議 会議案内、大学審議会ニュース No.1、21世紀の大学像と今後の改革方策について-競争的環境の中で個性が輝く大学-(中間まとめ)、日経BPムック「変革する大学」シリーズ 大阪大学基礎工学部 2007-2008年度版、ERE 経済学検定試験 問題集 2007年12月受験用、声明 科学者の行動規範について、長崎大学経済学部・経済学研究科 外部評価報告書、平成4年度 修学案内[専門教育科目]、平成4年度 西日本地区国立大学法人経済学部・経営学部 学部長・事務長会議、2004年度 博士後期課程在籍者(3年次以上)業績等一覧表、2004年度 博士後期課程在籍者(3年次以上)名簿、2004年度 博士後期課程在籍者(3年次以上)業績等一覧表、2004年度 博士後期課程(3年次以上)研究業績一覧表、2004年度 博士後期課程在籍者(3年次以上)業績等一覧表、平成13年度 経済学部フォカルティ・デベロップメント検討委員会 活動報告と提案、国立九大学法・経済学部長会議 承合事項回答、東北大学経済学部 外部評価報告書、一橋大学大学院経済学研究科 外部評価報告書、博士学位論文 内容の要旨及び審査の結果の要旨 第21号、自由の学風・京都大学経済学部で学ぼう 京都大学経済学部の紹介とメッセージ(パンフレット)、京都大学大学院経済研究科・経済学部 概要2006、京都大学法学部・法学研究科 概要 2006(パンフレット)、京都大学概要 2006、京都大学経済学部 学生による「授業評価」報告書(2006年)、経済学・経営学教育シラバスの意義と役割 京都大学大学院経済学研究科・経済学部 教育改革研究会報告書、授業計画及び講義概要(平成8年度)、大学院講義概要(平成8年度)、東京大学社会科学研究所年報 No.38、研究成果報告書 大学院問題に関する調査研究、東京大学社会科学研究所 外部評価報告書、経営学グローバルCOEの使命 自己評価・外部評価報告書 2004-2006、神戸大学経済経営研究所 外部評価報告書、平成元年度 西日本地区国立大学 経済学部・経営学部 学部長・事務長会議、香川大学概要1992、College of Social Sciences NCKU、EUIJ関西ワークショップ 次世代のEU研究(チ

ラシ)、ANNUAL Review 2006・2007、Eco design in Japan and EU:Establishing a Sustainable Society (英文)、EU Institute in Japan Kansai、GLOBALIZAREA INCOTRO VOL. I・II、UNIVERSITY OF BUCHAREST student guide、Universitatea din Bucuresti Manager、Economics 1998-9 (出版物パンフレット)、College of Europe 2008-2009 (パンフレット)、THE LAHORE JOURNAL OF ECONOMICS Volume12.No.2、International Relations at the University of Paris-Dauphine (パンフレット)、UNDERGRADUATE PROSPECTUS 1994/95、ANNUAL REPORT 1989-1990SOCIAL SCIENCE RESEARCH COUNCIL、The Graduate School Handbook、UNIVERSITY OF BUCHAREST VADEMECUM、THE UNIVERSITY OF BUCHAREST ROMANIA students guide、LEX et SCIENTIA N r.XIII、The Graduate School Prospectus For entry in the year 2004、Prospectus、JAPANESE COLLEGES and UNIVERSITIES 1985、STRUCTURAL DETERMINANTS OF THE BUDGETING PROCESS、LA CHAMBRE DE COMMERCE ET D'INDUSTRIE DE PARIS (パリ商工会議所のパンフレット)、Charters of Foundation Early Documents of the Universities of the Coimbra Group、RuG Rijksuniversiteit Groningen

大阪大学大学院医学系研究科・医学部

「自己点検・評価報告書—現状と課題— 第3巻」、夢・熟考・実践 網野信行教授退官記念業績集

大阪大学工学研究科電気系図書室

財団法人蛋白質研究所奨励会要覧、大阪大学大型計算機センターニュース 第72・85～87号、言文だより No.6～13、大阪大学情報処理教育センター 広報 第5～7号、大阪大学一覧 昭和31年

大阪大学大学院言語文化研究科

大阪大学大学院言語文化研究科 自己評価報告書 2004-2006、2009 大阪大学大学院言語文化研究科言語社会専攻案内

大阪大学大学院国際公共政策研究科

OSIPP NEWS LETTER 2007年 秋号 (No.44)、OSIPP NEWS LETTER 2008年 冬号 (No.45)、OSIPP NEWS LETTER 2008年 春号 (No.46) 大阪大学大学院国際公共政策研究科 (OSIPP) 文部科学省「魅力ある大学院教育」イニシアティブ採択事業『国際公益セクターの政策エキスパート養成』国際シンポジウム『人間の安

全保障と国際公共政策の将来』プロシーディングス、大阪大学大学院国際公共政策研究科 (OSIPP) 文部科学省「魅力ある大学院教育」イニシアティブ採択事業『国際公益セクターの政策エキスパート養成』事業報告書

大阪大学接合科学研究所

阪大接合研ニュースレター 第21・22号

大阪大学超高压電子顕微鏡センター

でんけん No.1～5、DENKEN No.6 & 7・8・9 & 10、ULTRA-DENKEN No.11～23、超高压電子顕微鏡センター平成7～18年度年報

大阪大学ラジオアイソトープ総合センター

RI センターニュース No.21

大阪大学環境安全研究管理センター

大阪大学環境安全研究管理センター誌 保全科学 第14号、環境安全ニュース No.32

大阪大学金融・保険教育研究センター

大阪大学金融・保険教育研究センター (パンフレット)、平成19年度 活動報告書、平成20年度 10月入学 大阪大学金融・保険教育センター科目等履修生高度プログラム「金融・保険」募集要項、Workshop on Finance and Related Mathematical and Statistical issues (チラシ)

大阪大学サイバーメディアセンター

大阪大学サイバーメディアセンター計算機利用ニュース 2008年度 Vol.4 No.1

懐徳堂記念会

懐徳堂記念会 (パンフレット)、平成20年度 懐徳堂古典講座 (チラシ)、懐徳堂の過去と現在、懐徳 第73号

宮井 潔 (大阪大学名誉教授)

大阪大学医学部附属病院 中央臨床検査部 創設25周年記念誌、大阪大学臨床検査診断学講座 新設一周年記念誌、大阪大学医学部 臨床検査診断学・中央臨床検査部 業績集 (1976-1986)、(宮井潔教授開講10周年記念)、大阪大学医学部 中央臨床検査35周年臨床検査診断学講座10周年 記念誌、宮井潔 教授退官記念業績集

業務日誌(抄) (2008年3月～2008年7月)

- ・3月5日 菅、工学研究科において同研究科資料室所蔵資料を価値評価。将来的な移管を決定。
- ・3月6日 菅、福岡出張。九州大学大学文書館を視察し、聞き取り調査。
- ・3月7日 菅、東広島出張。広島大学文書館を視察し、聞き取り調査。
- ・3月10日 五島忠久名誉教授(教養部)のビデオ撮影。五島名誉教授より資料159点を受贈。
- ・3月13日 一橋大学学術・図書部学術情報課長友良維氏来室。一橋大学でのアーカイブズ整備にむけての調査。
- ・3月28日 附属図書館から、大阪大学に関する古い映像について照会。
- ・3月31日 『大阪大学文書館設置準備室だより』第2号を刊行。
- ・4月4日 工学部卒業生足立葉一氏より講義ノート類を受贈。
- ・4月8日 大阪大学萬葉旅行之会OB会から資料受贈。
- ・4月9日 宮井潔名誉教授(医学部)から準備室の収集資料について照会。
- ・4月23日 大阪大学萬葉旅行之会OB会と「萬葉旅行之会資料の利用等に関する覚書」を締結。
- ・5月3日 池田光穂氏(コミュニケーションデザインセンター教授)より、医学部附属高次神経研究施設に関する資料について照会。
- ・5月8日 菅、熊本大学60年史編纂室第1回研究会で講演。「大学史編纂と資料収集ー広島大学50年史編纂の経験からー」。
- ・5月13日 阿部室長・菅、文書館設置準備室の現状と課題について西田理事・滝澤総合計画室員に説明。
- ・5月28日 適塾記念会に、小田得一筆記「大阪医学校講義ノート」を貸し出し。適塾特別展「適塾から大阪医学校へ」で展示(6月3日～15日)。
- ・5月30日 菅、全国大学史資料協議会西日本部会2008年度総会・第1回研究会(神戸松蔭女子学院大学)に出席。全国大学史資料協議会西日本部会幹事校に就任。
- ・6月12日 「アーカイブ基礎セミナー ゼロからの資料保存」(全国歴史資料保存利用機関協議会資料保存委員会と共催、於附属図書館本館)を開催。菅、「大阪大学文書館スタートのために」を口頭報告。
- ・6月13～14日 菅、東京出張。記録管理学会2008年研究大会(学習院大学)に出席。
- ・6月18日 菅、総合学術博物館の橋爪節也教授・廣川和花助教と大阪市立中央図書館を訪問し、大高文庫の所蔵状況を調査。
- ・6月23日 菅、共通教育「大阪大学の歴史」の講義を担当。「旧制高等学校から阪大教養部へー大阪高等学校、浪速高等学校ー」。
- ・6月27日 菅、全国大学史資料協議会西日本部会2008年度臨時幹事会(関西学院大学大阪梅田キャンパス)に出席。
- ・6月30日 阿部室長、共通教育「大阪大学の歴史」の講義を担当。「その後の発展、経済学部」。
- ・7月8日 菅、JIIMA2008文書情報マネジメントセミナー「文書情報マネジメントの最新ナレッジ」(大阪産業創造館)に出席。
- ・7月9日 総合学術博物館廣川和花氏から、文学部60周年写真データベース事業に関して、データベース化の方法等について照会。
- ・7月11日 工学研究科応用化学専攻から資料受贈。
- ・7月18日 阿部室長・菅、文書館設置準備室の今後の活動について、企画推進課の松本課長・吉田専門職員と打ち合わせ。廣川和花総合学術博物館助教来室。文学部関係写真を閲覧。
- ・7月22日 菅、全国大学史資料協議会西日本部会2008年度第2回研究会(桃山学院史料室)に出席。
- ・7月23日 第15回文書館(仮称)設置検討ワーキングを開催。
- ・7月24日 廣川和花総合学術博物館助教来室。文学部関係写真を閲覧。

全学共通教育「大阪大学の歴史」シラバス

大阪大学では、平成18年度より全学共通教育で「大阪大学の歴史」の講義を開講しています。その経緯については、本誌第2号掲載の高杉英一「講義科目『大阪大学の歴史』を始めて」を参照して下さい。

平成20年度は1セメスターの月曜5限に開講し、受講生は101名でした。以下に資料として今年度のシラバスを掲載します。

シラバス

授業の目的、ねらい：

大阪大学の源流、創設、発展の各段階にかかわってきた人達のことを、そしてこれらの人達がどのようにして大阪大学を、そして新しい学問を切り開いてきたかを学ぼう。これらの方々から受け継がれてきている大阪大学の気風を知り、大阪大学の建学の精神を学ぼう。
受講された皆さんは、大阪大学の先人の切り開いてきた道に誇りをもち、また伝統を感じることでしょう。この誇りと伝統は、皆さんが卒業後、新しい道を切り開くとき、困難に遭遇したときに、大いなる力を発揮することでしょう。

授業の計画、内容と目標：

- 4月14日 概観・・・高杉英一
(大阪大学の源流)
- 4月21日 懐徳堂・・・湯浅邦弘 2回
28日 大阪町人の出資によって誕生した懐徳堂の歴史を説く。三宅石庵、五井蘭州ら草創期の学問所から、中井竹山・履軒兄弟の頃の隆盛期、懐徳堂から生まれた富永仲基、山片蟠桃らの近代的叡智、そして、明治・大正期における懐徳堂の復興と終焉、さらに戦後の文学部の創設と懐徳堂文庫の誕生までを解説する。また、附属図書館貴重図書室において懐徳堂文庫の貴重資料を実見する。
- 5月12日 適塾から大阪大学医学部へ(概観)・・・米田該典
緒方洪庵、福沢諭吉、橋本左内、大村益次郎、長与専斉 北里柴三郎
緒方郁蔵、緒方惟準、高橋正純、大鳥圭介
19日 適塾、舎密局等・・・芝哲夫
26日 種痘関係・・・加藤四郎
(ブレイク)
- 6月2日 待兼山の自然・・・江口太郎
マチカネワニのいた時代から旧制浪速高校に至るまでの待兼山の自然と人々の暮らしの変遷
(大阪大学の創設)
- 6月9日 大学の創設と理学部の新設・・・高杉英一
長岡半太郎(初代総長)、八木秀次、湯川秀樹、菊地正士、真島利行、仁田勇
- 6月16日 大阪工業学校から阪大工学部へ・・・碓井建夫
- 6月23日 旧制高等学校(大高、浪高)から阪大教養部へ・・・菅 真城
(その後の発展)
- 6月30日 経済学部・・・阿部武司
高田保馬、安井琢磨、森嶋通夫、宮本又次、新開陽一
- 7月7日 基礎工学部・・・伊藤 正
正田建次郎博士により、科学と技術の融合を通して人類の真の文化を創造するとの高い理念のもと創設された。
- (まとめ)
- 7月14日 大阪大学の目指すもの・・・木川田一榮
阪大生に期待すること、阪大生の生き様 "Handai Style" を考える。

資料収集に関する申合せ

平成20年7月23日
大阪大学文書館（仮称）
設置検討ワーキング了承

大阪大学文書館設置準備室の資料収集に関する申合せ

（趣旨）

第1 この申合せは、大阪大学文書館設置準備室（以下「準備室」という。）が行う資料収集の具体的事項について申合せるとする。

（収集対象資料）

第2 準備室では、大阪大学に関する資料のうち、歴史的資料価値を有するもの（以下「歴史的資料」という。）を収集するものとする。

（歴史的資料価値の判断）

第3 歴史的資料価値の判断は、大阪大学文書館設置準備室長が行うものとする。

（収集の原則）

第4 歴史的資料の収集に当たっては、当該資料を管理する部局の長又は当該資料を所有する者の承認を得て行うものとする。ただし、収集することが困難な歴史的資料については、その複製又は目録を収集するものとする。

（他部局との調整）

第5 歴史的資料の収集にあたって、その収蔵先が大阪大学総合学術博物館、大阪大学附属図書館等と競合する場合は、当該部局と協議するものとする。

主な受贈資料

萬葉旅行之会資料

萬葉旅行之会は、元教養部の故犬養孝名誉教授（1907－1998）が主宰された萬葉集の故地を尋ねる旅行会です。1951年に第1回の大阪大学萬葉旅行を奈良北郊に行い、犬養教授の大阪大学退官後も旅行は続けられ、その回数は270回を数えました。その参加者は大阪大学や犬養教授が阪大退官後に奉職した甲南女子大学の学生のみならず、一般の社会人も多く参加しました。

旅行に際してはテキストと呼ばれた冊子が作成され、萬葉旅行之会OB会から、234冊のテキストと10冊の記念誌を寄贈していただきました。今後は写真等も受け入れる予定です。



辻義浩君の逝去を悼む

大阪大学文書館設置準備室長 阿部 武司

大阪大学文書館設置準備室で事務補佐員を勤めていた辻義浩君が、不慮の事故に遭遇し、8月28日早朝に急逝しました。享年満35歳の若さでした。準備室一同、彼が突然この世を去った事実がいまだに信じられず、深い悲しみにとらわれております。

辻君は龍谷大学経済学部経済学科入学後、愛知県尾西織物業の研究で知られる石川清之教授の指導の下で、愛読していた津田秀夫教授の農村織物業史研究にも啓発されて日本経済史研究を志し、飛び級で同大学大学院経済学研究科経済学専攻博士前期課程に進みました。1998(平成10)年3月修士号を取得し、同年4月大阪大学大学院経済学研究科日本経済経営専攻博士後期課程に入学しました。辻君は以後私の指導の下で、龍谷大学ですでに研究を開始していた、近世および近代における重要産業である菜種製油業の経済史・経営史的研究を精力的に進めました。若い研究者が大学教員のポストを見つけるのは昔から容易なことではありませんが、この道をめざしていた辻君も残念ながらその例外ではなく、2006年3月末にやむをえず上記の課程を単位取得退学しました。

たまたまこの年7月大阪大学文書館設置準備室が発足することになり、私とその室長を仰せつかりましたが、事務補佐員を至急採用する必要がありましたので、その件を辻君に依頼したところ快諾してくれて、同年11月以降1年10か月間、実によく働いてくれました。

辻君は、①「近代移行期における山城地方の製油業一鳥羽屋の事例分析を中心に一」『社会経済史学』(2001年11月、第67巻第4号、71-84頁)、②「近代移行期における製油業の展開一山城地方を中心として一」『大阪大学経済学』(2002年3月、第51巻第4号、80-95頁。学術文献刊行会編『日本史学年次別論文集』2002年版、近世I、朋文出版、2004年7月、730-737頁に再録)、③「近代大阪の製油業の発展一攝津製油株式会社の事例分析を中心に一」『経営史学』(2005年3月、第39巻第4号、1-29頁)の論文3編、および④経営史学会編『日本経営史の基礎知識』(有斐閣、2004年10月)に収録された「在来産業の経営発展」(64-65頁)と「産地織物問屋の経営と工場化」(96-97頁)の2項目、以上の学術研究成果を残してくれました。

辻君の研究の優れた点として、まず着眼点の良さを指摘できます。修士論文を取りまとめる過程で辻君は、近世経済史上、その重要性が広く認められているものの、きちんとした実証研究が意外に乏しかった製油業

を出発点に選び、この産業の幕末から明治前期における展開を探り始めました。学問的に意味があるにもかかわらず研究が進んでいないテーマを発見することは、若い研究者にとってきわめて重要ですが、現実にはなかなか難しいところです。辻君は初発から、先入観にとらわれない柔軟な発想を持って、大変良いテーマを自らのものにしておりました。一次史料を駆使した高度の実証を追求してきた点も高く評価できます。京都府山城地方の製油業者であった鳥羽屋や明治期に設立された攝津製油会社の史料を発掘して、それらを丹念に集計した成果が上記の諸論文に結実しております。

明治期の製油業は、外国から輸入されるようになった石油におされて衰退していく、という漠然としたイメージが通説でしたが、辻君の研究では、この産業が明治期にも意外に強く生き残ったこと、その動向を仔細に検討すれば、旧来の関連問屋層が攝津製油を設立し、同社が機械の維持用などの新需要を開拓していったこと、他方、近世以来の伝統を継承した在来的製油業も、多年蓄積してきた技術や、副産物の油粕の活用などを武器として、照明用需要の強固な残存に支えられつつ、容易に衰退しなかったこと等、従来知られていなかった興味深い事実が多数解明されています。なお、上記④の書物は、日本の経営史研究者を結集する学会が、項目原稿の一部を公募して完成したのですが、辻君が、製油業を超えて、近年研究が盛んである在来産業を総括的に論じた2項目は、その審査にパスした作品であり、査読付き論文である①・②、および論文集に後日採択された②とともに、同君の力量が学界に高く評価されたことも示しております。

文書館設置準備室で辻君は、大阪大学の歴史に関わる資料の収集と整理という地味で骨の折れる仕事に専念しておりました。日本ではそうした仕事に携わるアーキビストという職業に対する社会的認知が、諸外国に比べて大きく立ち遅れております。私は、辻君にこの仕事の重要性をしばしば説き、経済史や経営史を講義する大学教員に進む道のほかにアーキビストとして大成することも考えてはどうかというアドバイスをしたこともありますが、彼はその決断にはためらっていたようで、勤務の傍ら、博士論文の取りまとめに最後まで努力しておりました。

私たちは将来性に富む有能な1人の人材を失ってしまいました。辻君のご冥福を心よりお祈りいたします。

大阪大学文書館（仮称）設置検討ワーキング委員名簿

2008年6月24日現在

委員

- ◎阿部武司（経済学研究科長）
- 竹中 亨（文学研究科教授）
- 玉井 暲（文学研究科教授）
- 中尾敏充（法学研究科長）
- 平尾俊一（工学研究科教授、附属図書館副館長）
- 進藤修一（言語文化研究科准教授）
- 米田悦啓（生命機能研究科教授）
- 江口太郎（総合学術博物館長）
- 阿部浩和（サイバーメディアセンター教授）
- 細谷 裕（理学研究科教授、湯川記念室運営委員会委員長）
- 滝澤温彦（理学研究科教授、湯川記念室運営委員会委員、総合計画室員）
- 高杉英一（理事・副学長、評価室長）

オブザーバー

- 菅 真城（文書館設置準備室講師）
- 西田正吾（理事・副学長、総合計画室長）
- 大西 愛（大阪大学出版会）

◎は主査

大阪大学文書館設置準備室員名簿

室 長 阿部武司
 （経済学研究科長）
講 師 菅 真城
事務補佐員 田村 綾

大阪大学文書館設置準備室だより 第3号

発行日 2008年9月30日
編集発行 大阪大学文書館設置準備室
〒560-0043
大阪府豊中市待兼山町1-32
大阪大学サイバーメディアセンター気付
Tel. (06) 6850-6269
Fax. (06) 6850-6274
E-mail kan@hpc.cmc.osaka-u.ac.jp
<http://www.osaka-u.ac.jp/jp/facilities/archives/top.html>